
白青線ブルース

村雨／架空パンク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白青線ブルース

【Nコード】

N5559Y

【作者名】

村雨／架空パンク

【あらすじ】

静岡県東部を走る私鉄「伊豆箱根鉄道」（駿豆線）に向けて書いた詩です。三島～修善寺までの全13駅＋1個の作品で、村雨と架空パンクがおよそ半分ずつ書いています。僕らが毎日揺られる“伊豆っぱこ”各駅に対する思い出を感じていただけたら、と思います。

三島ゲートウェイ(前書き)

作…架空パンク

副題『扉』

三島ゲートウェイ

開きっぱなし 鍵のない扉
入るといいさ好きにするぜ
ダラダラ往復もできるんだ

夢の街 速い街 知らない街
チラリ覗いて見てるだけ

夢が叶う予感
遠くへ行ける予感
ドキドキしちゃうぜ
鍵のない扉

開きっぱなし 鍵のない扉
とっとと入れよ安いもんだ
出入りも自由さその君

夢の街 速い街 知らない街
チラリ覗いて見てるだけ

夢が叶う予感
遠くへ行ける予感
ドキドキしちゃうぜ
鍵のない扉

夢の街 速い街 知らない街
チラリ覗いて見てるだけ

夢が叶う予感
遠くへ行ける予感
ドキドキしちゃうぜ
鍵のない扉

広小路ナロウアレイ（前書き）

作…架空パンク

副題『太陽の真ん中』

広小路ナロウアレイ

神様が助けてくれないの
あの娘 そうっと呟いた

朝が冷たい7時半

ラッシュアワーは見向きもしない

イヤホン ロックを歌うけど
睨みつけても 空を切る

太陽の真ん中 昼日中
眩し過ぎたよ 立ち止まる

生きていたくて 止まらない

神様が助けてくれないの
あの娘 そうっと呟いた

帰り道には 上手く笑って
手を振り 歩けば 溜息一つ

自転車こいでも 進みやしない
世の中そんなに 甘くない

太陽の真ん中 昼日中
眩し過ぎたよ 立ち止まる

生きていたくて 止まらない

10時過ぎてる 家の前
寝転び 考え なにもない

あの娘のメールを 待つてるけれど
上手く話せる柄じゃない

太陽の真ん中 昼日中
眩し過ぎたよ 立ち止まる

生きていたくて 止まらない

神様が助けてくれないの
あの娘 そうっと呟いた

神様が助けてくれないの
あの娘 そうっと呟いた

太陽の真ん中 昼日中
眩し過ぎたよ 立ち止まる

神様が助けてくれないの
あの娘 そうっと呟いた

エントランス三島田町（前書き）

作…村雨

副題『はじまりとおわり』

エントランス三島田町

定期どこへやっただろう？

真白い息を切らし駆ける

ブレーキ

始まる今日の摩擦

どうして忘れたのか

如何様の幸福論

何も無い道を行く

今遠くで聞こえた

僕らの始まり

閉まる憂鬱に揺られて

今日はまた走り出す

鍵はどこへやっただろう？

街灯淡く闇揺らす

エンジン

過ぎゆく今日の摩擦

寄り道

まだいいよな

買い込んだ劣等感

意味も無く歩を速く

今遠くで聞こえた

誰かの「さようなら」

開く雑音に合わせて
今日はまた終わりゆく

荷物を降ろしても
どうしてだろう
なかなか楽にならないな

今遠くで聞こえた
あなたの「また明日」
動く心臓に絡んで
今日はまた進みゆく

リバーサイド三島二日町(前書き)

作：村雨

副題『君らしく』

リバーサイド三島二日町

鳴り止まない雨のように音の無い空
それはきつと遠くまで澄んでいて
いつか僕らを濡らすことなんて
どうしても考えられないんだ

果てない想い

「君らしく」

届けに行く

人知れず流れる小川のように

どこかで生きる君よ

どうか綺麗に笑っていて

それだけ僕に叶えさせて

心の模様

そんなもの分からないけれど

君はきつと何かを求めている

どうやら僕には無いみたいだけれど

どうにか辿り着いて欲しい

いつかの望み

「僕らしく」

貫いに行く

人知れず流れる小川のように
どこかで生きる君よ

どうか綺麗に笑っていて
それだけ僕に叶えさせて

いつかくれた言葉も
今はもう遥か彼方
歩き続けたこの道も
少しずつ変わるのなら

果てない想い
「君らしく」
届けに行く

人知れず流れる小川のように
どこかで生きる君よ
どうか綺麗に笑っていて
それだけ僕に叶えさせて

ミッドナイト大場（前書き）

作…架空パンク

副題『ミッドナイト・ブギ』

ミッドナイト大場

天国なんかに行くより

地獄で生きてたほうがマシ

今夜 街中 汚ねえ店

ミッドナイト・ブギは自由の音

パラ パ パ 踊る 三日月とヘッドライト

寝付いたりしたら後悔するぜ

ダン ダ リラ 街灯とテールライト

立ち止まったらおいてくぜ

一番素敵な感情は

欲望なんだ きつとそうだ

今夜 路地裏 危ないライン

ミッドナイト・ブギは自由の音

未来に残るのは死んだ名前だけ

誰も髪の毛一本残らねえ

今夜 交差点 衝突事故

ミッドナイト・ブギは自由の音

パラ パ パ 踊る 三日月とヘッドライト

寝付いたりしたら後悔するぜ

ダン ダ リラ 街灯とテールライト

立ち止まったらおいてくぜ

伊豆仁田パーリナイ（前書き）

作…村雨

副題『回るディスクと夜の舞』

伊豆仁田パーリナイ

足枷切ってため息ひとつ
少し歩いてもう一歩
ふわふわ
ふわふわと行く

辿り着いて楽しみひとつ
今始まるよ夜中の宴
がやがや
がやがやと舞う

鳴らす下手くそブルースハープ
君に届けよまっすぐに

ちょっと待って
まだ終わりたくないんだ
火照る頬もう少しだけ
過ぎないでよ

気付いてみたよ小さなひとつ
手に入れた代わりのディスク
くるくる
くるくると回る

揺らす後ろのひとつ結び
君は歩くよまっすぐに

ちよつと待つて

まだ終わりたくないんだ

火照る頬もう少しだけ

過ぎないでよ

ほんのささいなことでもいいんだ

笑顔ひとつ

もうひとつ

本当のひとつだけ

ちよつと待つて

まだ終わりたくないんだ

火照る頬もう少しだけ

過ぎないでよ

原木エンプティ（前書き）

作：村雨

副題『ロンリーエンド』

原木エンプティ

何も無え

見渡す限り何も無えぞ

諦めて帰れよ

誰も居ねえ

隣に誰も居やしねえ

見晴らしはいいのに

どこ行くんだったけ？

何待ってるんだっけ？

惚けた顔面

蹴り入れてやろうか

ここが終点になりやいいのに

何も無いまま失ってくんた

いいから走れ

取り返してこい

平和かい？

それでいいのかい？

こんな寂しい世界じゃやっていけない

ここが終点になりやいいのに

何も無いまま失ってくんた

いいから走れ

取り返してこい

何も無えな

取り返してこい

諦めて走れよ

取り返してこい

葦山ランナー（前書き）

作…村雨

副題『走れよ少年少女』

葦山ランナー

走れよ少年

止まらないランナー

手を伸ばすでは足りない
そうだ

不協和音鳴らす変拍子

辿り着いたみたいだ

呆れるほどの何も無い直線
猫を追いかける少年少女

細い道を抜けたら金属音
重なる管の音

夢を追いかける少年少女

遥か彼方

望遠鏡が写しとった

流れる君の涙
触れに行くよ

走れよ少年

止まらないランナー

手を伸ばすでは足りない
そうだ

不協和音鳴らす変拍子

まだ終われないさ
まだ止まらないさ
待っているよ
長い坂道の頂上
その先を

走れよ少年
止まらないライナー
手を伸ばすでは足りない
そうだ
不協和音鳴らす変拍子

ロストパラダイス長岡（前書き）

作…架空パンク

副題『ノツキン・ドア』

ロストパラダイス長岡

ロストパラダイス 理想郷で自爆テロ
警察署に押し売りに行くぜ
裁判所までカーチェイスだ

ノッキン・ドアー ノッキン・ドアー

僕らの欲望 美しい強欲
ゆめ だとか みらい だとか
洒落た読み方はいらないぜ

カラスのように舞い
通り魔のように刺す

ノッキン・ドアー 適当な拍子で
中身はなんだ ラジオボーイ
ノッキン・ドアー 適当な拍子で
くぐり抜けるぜ マッハ3

ロストパラダイス 理想郷のアナーキズム
神様に詐欺をしかけるんだ
悪魔の魂を万引きしてやる

ノッキン・ドアー ノッキン・ドアー

僕らの現在 今この僕ら
過去 だとか 今までだとか
最近ちやうど物忘れがひどいんだ

カラスのように舞い
通り魔のように刺す

ノッキン・ドアー 適当な拍子で
中身はなんだ ラジオボーイ
ノッキン・ドアー 適当な拍子で
くぐり抜けるぜ マッハ3

田京ダウンスロープ（前書き）

作…架空パンク

副題『坂の多い町』

田京ダウンスロープ

坂の多い町 君の住む町

この長い坂を登った先で待っててくれよ
覗いた夜空が綺麗なんだ

まだ坂の途中 握りしめて

リンダ リンダ と口ずさむ

星を見つめて待つ君に

聞いてほしい歌があるんだ

いつか一緒に下り坂を

君と手を繋いで下るんだ

どこへ行こうか あの向こうまで

南風が吹いた 君の匂い

夕暮れが歌う 恋の歌だ

坂の多い町 君の住む町

この長い坂を登った先で待っててくれよ
覗いた夜空が綺麗なんだ

いま坂の途中 流れ星の下

君と一緒に流星を見るんだ

ハミングしながら待つ君に

聞かせてほしい歌があるんだ

いつか一緒に下り坂を

君と手を繋いで下るんだ

どこへ行こうか あに向こうまで

坂の多い町 君の住む町

この長い坂を登った先で待っていてくれよ
覗いた夜空が綺麗なんだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5559y/>

白青線ブルース

2011年11月24日21時01分発行